

第1回 日ASEAN 女性・平和・安全保障（WPS）協カプロジェクトの主催

10月22日～25日、「第1回 日ASEAN 女性・平和・安全保障（WPS）協カプロジェクト」を主催しました。本プロジェクトには、ASEAN諸国（ミャンマーを除く。）及びASEAN事務局に加えて、オブザーバーとして東ティモール、フィジー、トンガの防衛当局等に所属するWPS実務者21名が参加しました。

本事業においては、外部有識者（北欧軍事作戦ジェンダーセンター教官）によるWPS関連講義、防衛省・自衛隊及び参加各国によるWPSに係る取組状況、課題、教訓、経験等に関する発表・共有、部隊研修等を実施することにより、参加者のWPSに関する認知向上及び理解の深化を図るとともに、実務者レベルでの課題解決に繋げるプラットフォームを構築することができました。

防衛省・自衛隊は、引き続き、ASEAN諸国等と共にWPSを推進し、国際社会の責任ある一員として平和と安定に貢献してまいります。

プロジェクトの様子



